

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	キッズルームひまわり		公表日 令和8年4月27日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	19	3	・プレイルームや園庭（合同で遊ぶ、単クラスで遊ぶ）の使い方を工夫している。	・トイレが足りない。トイレトレーニング中の子どもに適切に対応できない。 ・1クラス10名だと全体に落ちつかずせまいのではないかと感じる。 ・1クラス9～10名だと子ども落ち着かず、狭く感じる時がある。また、利用人数に対してトイレも少なさを感じる。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	21	0	・配置は適切。 (未回答1名)	・正規職員が不足。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	20	2		・指導室の扉に子が手をはさまないか心配になることがある（部屋の中に子が扉付近にいた場合、外から入ってくる時に見えないため）。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	20	2		・上記、トイレや外からの出入口のスキマ風、排煙窓を換気に使っているが全開全閉しかできず適切にできない。 ・外からの砂、枯れた芝が部屋に入り込む。 ・壁の飾りが多いように思われる。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	21	1	・ダンボールの仕切りを使う事で代替している。 ・場合により、空き部屋（ぼんだ）、プレイルーム、廊下、静養室等を使うことができる。 ・朝礼、終礼などで情報伝達、クラス間の協力体制がある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	20	1	・次年度へ向けての正規職員会議が密度の濃いものになっている。任用職員への参加、周知等は、これからになっている。 (未回答1名)	・なかなか共有されず、改善も進まない。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	22	0	・回覧で全体周知、共有、指導会議等で改善策を模索している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	19	3	・一元化に向け正規のみの会議が増えているが今後も必要と感じる。	・伝えても改善まで結びつかない。 ・一元化に向けて今後も会議等の機会を設けてほしい
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	17	2	・分からない。 ・他市の児童発達センターの職員から、第三者評価を受けている。 (未回答3名)	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	22	0		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	21	1	・ホームページに公表しています。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	22	0		

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	22	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	22	0	・任用職員も参加する事となって、情報交換共有の機会が増した。 ・担任間では共有されている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	16	1	(未回答5名)	・アセスメントツールの使用はない。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	21	0	(未回答1名)	・地域支援、地域連携は不明
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	22	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	22	0	・継続もしつつ変化も入れている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	22	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	20	1	(未回答1名)	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	19	3	・バス添乗などで集まれなくても何かしらの方法で共有している。 ・必ずではないが時間が取れる時は話し合いをする。 ・全職員（クラス全員等）がそろって打ち合わせを必ず行う事は難しいが、できる範囲で工夫されている。 ・必ずではないが、なるべく多くの職員（担任）がそろい、気づき等を話し合っている。 (必ず記録はしている=徹底?) ・降園後の時間、クラス会議等で共有している。	・必ずとは言えない。振り返りを行う時間を確保できないときがある（研修や会議の理由で）。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	22	0		
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	20	1	・定期面談をモニタリングの機会としている。 (未回答1名)	・日々の振り返りはしているが、モニタリングとしての見直しは、なされていない。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	18	2	(未回答2名)	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	19	1	(未回答2名)	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	19	1	(未回答2名)	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	21	1		
		(28~30は、センターのみ回答)				・中核拠点として、市のもう一つの児童発達

関係機関や保護者との連携	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	10	3	支援センターと連携し、地域の事業所向けに研修の機会をつくっている。 ・柏市児童発達支援事業所連絡会を事務局として開催している (未回答9名)	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	12	2	(未回答8名)	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	10	2	・キッズルームの職員が参加している。 (未回答10名)	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	19	(未回答1名)	・保育所としても余裕がない状況。現実としては難しいと思われる。 ・交流する機会がない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	21	0	(未回答1名)	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	19	1	・研修ではオンラインにてリモート参加も取り入れ、参加しやすいようにしている。 (未回答2名)	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	21	1		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	22	0	・こども自身の意向は確認できていない。実際支援する中でこどもの状況を見てやり方を検討(変更)していく事はある。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	22	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	22	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	13	8	・父母の会はなくなったが、クラス懇談会等で保護者同士で交流する機会を設けるようにしている。 ・(空欄1名)	・父母の会や保護者会の存在はなし。きょうだい交流も夏休みにあったが希望が少なかった。 ・回数は減っている。もう少し交流機会が増えるよう工夫が必要と思われる。 ・検討課題となっている。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	22	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	19	1	・(空欄2名)	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	21	0	・(空欄1名)	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	21	0	・(空欄1名)	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	16	・(空欄2名)	
45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	22	0	・(空欄1名)		

非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	19	0	・（空欄3名）	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	21	0	・（空欄1名）	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	21	0	・（空欄1名）	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	20	0	・（空欄2名）	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	19	0	・園のしおりや園だより、週案等で伝えているが、繰り返しの周知が必要かもしれない。 ・（空欄3名）	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	21	0	・（空欄1名）	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	21	0	・（空欄1名）	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	21	0	・（空欄1名）	